

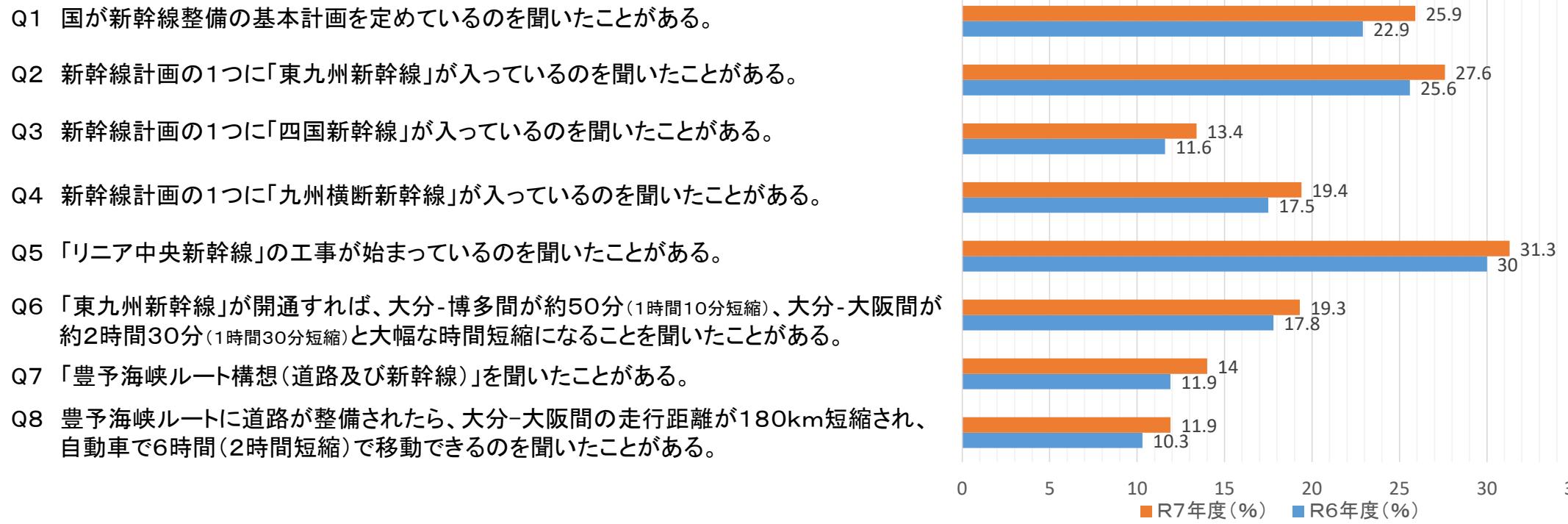
R7広域交通アンケート調査結果（高校生）

1 調査概要

【対象】県内の高校に在学する全生徒(27,979名) 【期間】令和7年10月 【方法】オンライン
【設問】全10問(東九州新幹線や豊予海峡ルートの認知等) 【回答】17,594名(回答率62.9%)

2 東九州新幹線・豊予海峡ルート等の認知度

- ◆大分県を通る3本の基本計画路線のうち、「東九州新幹線」の認知度(27.6%)が最も高い
- ◆豊予海峡ルート構想については、約1割(14%)の生徒が認知
- ◆整備効果の認知度は、東九州新幹線が19.3%、豊予海峡ルート構想が11.9%



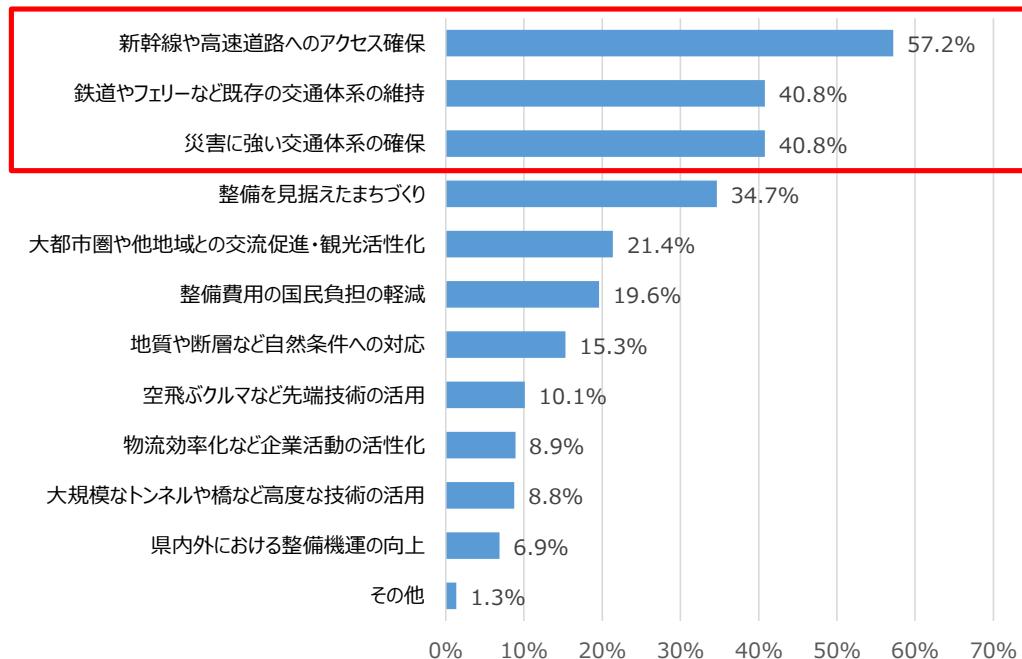
R7 広域交通アンケート調査結果（高校生）

3 重要な要素や今後への期待

- ◆整備を考える際に特に重要な要素は、「新幹線や高速道路へのアクセス確保(57.2%)」が多く、「鉄道やフェリーなど既存の交通体系の維持(40.8%)」、「災害に強い交通体系の確保(40.8%)」が続く
- ◆3/4を超える(77.4%)の生徒が、東九州新幹線や豊予海峡ルートなどの整備に期待(R6:75.7%)

Q9 東九州新幹線や豊予海峡ルート(道路・新幹線)などの整備を考える際に、特に重要な要素だと思うものは何か。

※複数選択、最大3つまで



Q10 人口減少対策を進める中、地域発展及び将来世代のための取組として、東九州新幹線や豊予海峡ルートなどの整備に期待しますか。

